

基本情報

- ◆ 認定年度: 2024(令和6)年
- ◆ 設置時期: 2024(令和6)年11月
- ◆ 実施部局: 防災研究所
- ◆ 相手方機関: メキシコ国立自治大学(メキシコ合衆国)
- ◆ 設置タイプ: クロスバウンド型
- ◆ 設置場所: メキシコ国立自治大学(メキシコ合衆国・メキシコシティ)
京都大学防災研究所(宇治キャンパス総合研究実験2号棟)
- ◆ 設置目的: 沈み込み帯における地震・津波災害の軽減に向けた学際的研究拠点の設立
- ◆ 活動内容: 理学、工学、社会科学による地震・津波災害とリスクの理解の高度化

活動による大学全体への波及効果

- 新たな学問分野「比較地震・津波災害科学」の設立
- 地震・津波防災研究をリードする京都大学の周知
- ラテンアメリカコミュニティとのHub Laboratory
- 優秀な修士・博士課程の学生の獲得

活動概要

京都大学
防災研究所



政府・自治体・
地域との連携

UNAM
OSL iLETs

地震・津波未災学国際Lab (iLETs)

世界の沈み込み帯における
「比較地震・津波災害科学」研究拠点

社会の防犯行動を促す
リスクコミュニケーション

ハザード
評価

リスク
評価

リスク軽減・
避難行動

工学的
対策

エビデンスに基づく
効果的なリスク軽減策

工学的対策と避難戦略の提案

メキシコ国立自治大学
(UNAM)

工学部・地球物理研究所



政府・自治体・地域との連携

京都大学
OSL iLETs

iLETsサテライト
(エルサルバドル国立大学)

2025年度の主な活動実績

①メキシコ地球物理学連合2025年大会においてサマースクールとブース展示を実施

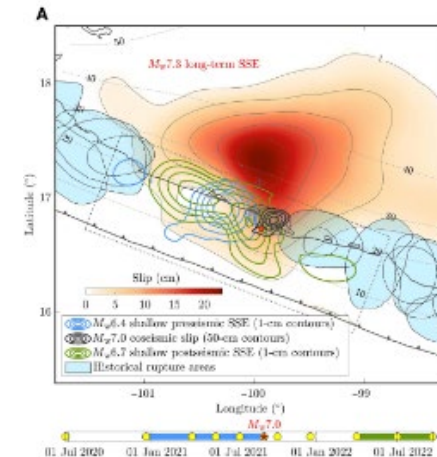
- 10月26日から10月31日にメキシコ合衆国・プエルトバヤルタで実施されたメキシコ地球物理学連合2025年大会において、iLETsが主催する地震・津波防災に関するサマースクールを実施しました。メキシコ側の協力者や伊藤喜宏教授を含む6名が登壇し、約15名の受講者の前でiLETsが地震・津波防災に果たす役割や海底地震観測の役割、津波計算の手法、地盤振動の解析方法、地震動のモデリング、地震・津波災害への備えなどを解説しました。
- 大会ブースにてiLETsの展示説明を行いました。iLETsのブースにはメキシコ国内の多くの研究者や学生が立ち寄りました。ブースに立ち寄った学生の多くは京都大学への留学を希望しており、ブースに常駐した教職員と本学に関する多くの情報を交換しました。



学会会場におけるブース展示

②メキシコ太平洋沿岸部ゲレロ地震空白域内で発生する浅部スロースリップの検出

- メキシコ太平洋沿岸部ゲレロ州沖合の上盤プレート変形を、海底傾斜計・静水圧・GNSS・衛星InSARで高精度観測し、測地データと繰返し地震を含む地震活動とを合わせて解析しました。結果として2021年メキシコ・アカプルコMw7.0地震前に海溝から震源に移動する浅部SSEをメキシコで初めて検出しています。さらに、地震後の長期的スロースリップの検出にも成功しました。
- 成果は、Science Advances誌で2025年9月10日に公開されました。
- Cruz-Atienza et al., 2025, DOI: 10.1126/sciadv.adu8259



検出されたスロースリップの発生域